

プラザ  
おでって & 啄木・賢治青春館

Plaza Odette

発行 / (財) 盛岡観光コンベンション協会 2012/10/01 発行

◇◇◇ もりおか啄木・賢治青春館 第56回企画展 ◇◇◇

1968（昭和43）年、詩集「動物哀歌」で詩壇の芥川賞と呼ばれる「H氏賞」を受賞した孤高の詩人です。青春館では本年生誕85周年を記念して、41年の短い生涯に詩作された代表的な作品を紹介すると共に、その「生い立ち」や宮沢賢治に影響を受けた内容を紹介する「賢治と昭夫」などをパネル展示いたします。



村上昭夫(むらかみあきお)

ありゆるすものもあ  
ゆる虫もみな昔  
かりの兄弟なのだから  
決してひとりを  
祈るはいけぬ  
村上昭夫

村上昭夫自筆の詩「賢治の星」  
(盛岡市先人記念館蔵)

動物哀歌  
村上昭夫展

生誕85周年記念



- ◆ 会 期 平成24年10月10日(水)～12月20日(木)  
午前10時～午後6時(最終入場:午後5時30分)  
休館日:11月13日、12月11日(毎月第2火曜日)  
■11月5日(月)は催事のため、正午まで開場
- ◆ 会 場 もりおか啄木・賢治青春館 2階・展示ホール
- ◆ 入場料 無 料
- ◆ 問合せ先 もりおか啄木・賢治青春館 TEL&FAX : 019-604-8900

## 昔ながらの喫茶店

東京から来た友人を市内案内するとき必ず喫茶店に入る。それも2〜3店梯子する。友人は

「地方都市の中でこんなに昔ながらの喫茶店がある街も珍しいんじゃない!」。そう言われて数えてみるとすぐ十店以上も思い浮かぶ。それらの店の中には二十年三十年どころじゃない老舗がある。中には八十年以上も続いている喫茶店まであるのだ。すると友人は「ほかの町ではアメリカから来たスタバやタリーズなどが主流で、どうして盛岡はそのような店が成り立つの?」と聞いてくるが、う〜ん、すぐには答えが見つからない。

それらの店には必ず常連がいる。そしてその店々で、音楽、演劇、絵画、写真など個性的な連中がお茶やお酒を飲みながら語り合っている場面によく出くわす。また、店の壁面には企画

展や常設的にいろんな展示物がある。

つまりそれだけ盛岡には芸術的な活動をしている市民が多くいるということか。また、そのような場があるから芸術活動も盛んなのか。これは誇るべきことなのかもしれない。

十月十日から青春館の二階展示室で『動物哀歌 村上昭夫展』が開かれる。昭夫を調べていると、彼も若い時に行きつけの喫茶店があった。肴町の今はなき「カフェ文化」である。戦前から昭和四十年代までにぎわったそうだ。その店には高村光太郎や森荘己池そして鈴木彦次郎らのたまり場であったらしい。そこで刺激を受け昭夫は文学の道を志す。今ある喫茶店の常連の中から、これからも未来の賢治や啄木が続々と輩出されていくに違いない。そう願ってやまない。